

◆ ご案内 ◆

昨年の秋に Studyaid D.B.シリーズ 2000 および 4STEP+スタンダード統合版が発行されてから、ユーザーの皆様方にはとてもご好評をいただいております。

特に、教科書・入試・中学・4STEP+スタンダード統合版 のデータベースを切替えることで、学年や学校種別の垣根を取りはずしたプリントを作成できる、という点に関しては、「まさに目からウロコがおちた」と表現してくださるユーザーの方もいらっしゃるほどでした。

メール(stdb@suken.co.jp)等でも、いろいろな使用提案やご意見をお寄せいただき、大変感謝いたしております。ありがとうございます。

さて今回は、皆様方の声を元に、「Studyaid D.B.を使いこなそう!」という趣旨で、発展的な使用方法をご案内したいと思います。

「Ⅰ 新しい類問検索機能を使いこなそう」では、より充実した 2000 年版の機能「類問検索」についてご紹介いたします。また「Ⅱ グラフ作成機能を使いこなそう」では、グラフ作成の詳細設定について、具体的にご説明いたします。

Ⅰ 新しい類問検索機能を使いこなそう

類問検索とは、既に作成したプリントに含まれる各問題の検索条件を利用して、同条件で検索し、類問を追加したり、差し替えたりできる機能のことです。

2000 年版からは、この類問検索機能が更に充実しました。

例えば、「出題大学」で検索した問題を元にする場合

- [同一検索条件] の類問検索では、検索条件を忠実に再現します。同じ「出題大学」の問題のみを検索します。
- [同一テーマ] の類問検索では、同じ学習範囲の問題を検索します。よって検索条件としての「出題大学」は無視されます。


類問を検索してみましょう

1. 任意の問題の上で
クリックし水色に
反転したら右クリック
↓
[メニュー]
が表示される

集合・順列と組合せ・確率

1. [文115] 3つの集合のベン図を表す集合を解答群

集合A, B, C が四のような関係をもっているとき、斜線の部分と格子の部分はそれぞれどのように表されるか。次の解答群の中から選べ。ここで、 \bar{A} は A の補集合を表す。



(ア) $A \cap B \cap C$ (イ) $A \cap B \cap \bar{C}$

(エ) $A \cap \bar{B} \cap \bar{C}$ (オ) $\bar{A} \cap B \cap C$

(キ) $\bar{A} \cap \bar{B} \cap C$ (ク) $\bar{A} \cap \bar{B} \cap \bar{C}$

解答 斜線部分(ウ), 格子部分(カ)

内容編集
問題情報表示
解説表示
類問差替(同一検索条件)
類問追加(同一検索条件)
類問差替(同一テーマ)
類問追加(同一テーマ)
順序移動(▲)
順序移動(▼)
順序移動(自由)
削除
階層変更
選択問題一覧

2. 4つの項目のうち
いずれかをクリックすると
1. で選択した問題の類問
が検索される

- ◆ 同一検索条件
学習範囲(科目・単元・テーマ)から出題元まで検索条件を忠実に再現して類問を再検索。
- ◆ 同一テーマ
以前指定した条件のうち学習範囲(科目・単元・テーマ)のみを再現して、類問を再検索。

類問検索の活用事例案！

1 枚のプリントを元に、類問の追加や差替えを行なうことで、同範囲もしくは同レベルのプリントを複数枚、作成することができます。

- クラス毎にプリント作成
 - 難易度の異なるプリントを作成
 - ドリル形式の反復プリントを作成
 - 前年度のテストを元にプリントを作成
- など、利用方法は様々です。

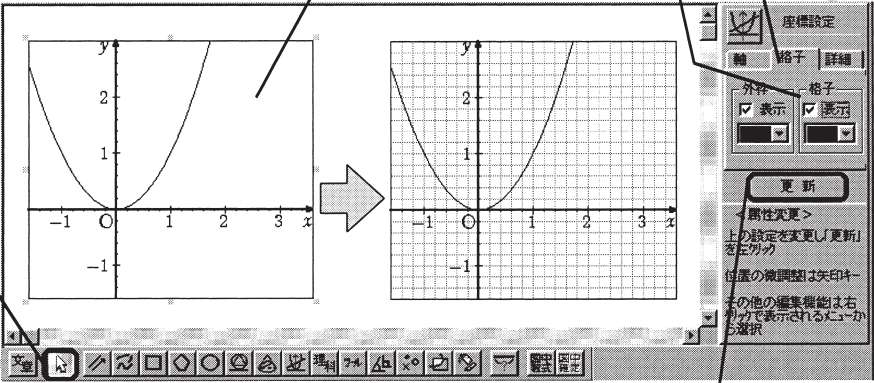
II グラフ作成機能を使いこなそう

Studyaid D.B.では、軸を設定して数式を入力するだけで、簡単にきれいなグラフを作成することが可能です。今回は、主に軸や目盛の設定方法についてご説明いたします。

軸の詳細を設定してみましょう

グラフの軸(座標)の書式を設定します。ここでは、格子を設定する手順をご紹介します。

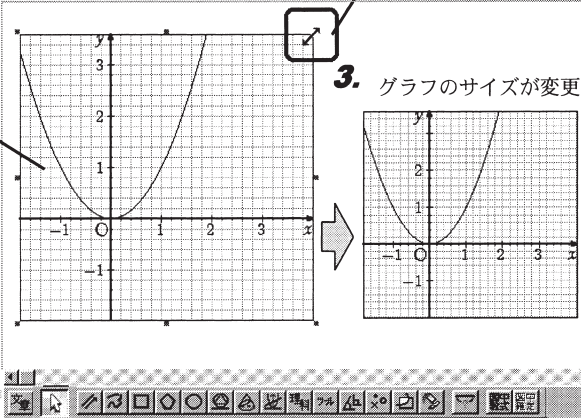
1. [図形編集]ボタンをクリック
2. グラフの上でクリック
軸とグラフが選択された状態になり
[座標設定]画面が表示される
3. [格子]タブをクリック
ex. 表示の にチェックをつける
4. [更新]ボタンをクリック
変更結果が反映される



グラフを軸ごと縮小(拡大)してみましょう

グラフを普通に拡大・縮小してみましょう。
軸とグラフ本体とを連動させてサイズ変更することが可能です。

1. グラフが選択された状態で
2. ドラッグすると
グラフごと拡大・縮小
3. グラフのサイズが変更





1 目盛の増分をかえてみましょう

グラフの1目盛の増分を変更することも可能です。

例えば1目盛につき0.2の増分(よって5目盛目が「1」)となっている右図Aのグラフをx軸方向に0.1の増分になるよう、変更してみましょう。

1. グラフ全体(座標)が選択された状態で

2. 座標設定の【詳細】をクリックして1マスの大きさ(数値)を変更

3. クリック

2. で、x軸方向の0.2を0.1に変更すると、下のようになります



表示範囲をかえてみましょう

グラフのサイズを通常通りに変更すると、目盛幅やグラフ本体まで拡大・縮小されてしまい、表示範囲自体は変わりません。Studyaid D.B.では、目盛の幅やグラフのサイズを変更することなく、表示範囲のみを変更することも可能です。

1. グラフ全体(座標)が選択された状態で右クリック

2. 【座標範囲変更】をクリック

3. ドラッグで座標範囲の変更

- 描画したグラフの一部分のみを表示させたい
- 余白部分を削除したい
- もっと広い範囲でグラフを描画したい

などというときに...

Studyaid D.B.では、高校で学習する範囲のほとんどのグラフ(極座標や媒介変数もOK!)を描画することができます。もちろんグラフ作成以外にも充実した機能を満載しており、出力結果がなめらかで美しいと、大変ご好評をいただいています。